

のげやまインクルーシブ構想

“誰もが学び、楽しみ、交流し、理解しあえる”まちづくり

野毛山地区は、みなとみらい地区、関内・関外地区をはじめとする都心臨海部に隣接し、横浜初の動物園や歴史ある公園、中央図書館などの教育・体験施設が集積する、永く市民の皆様に愛されてきた地区です。

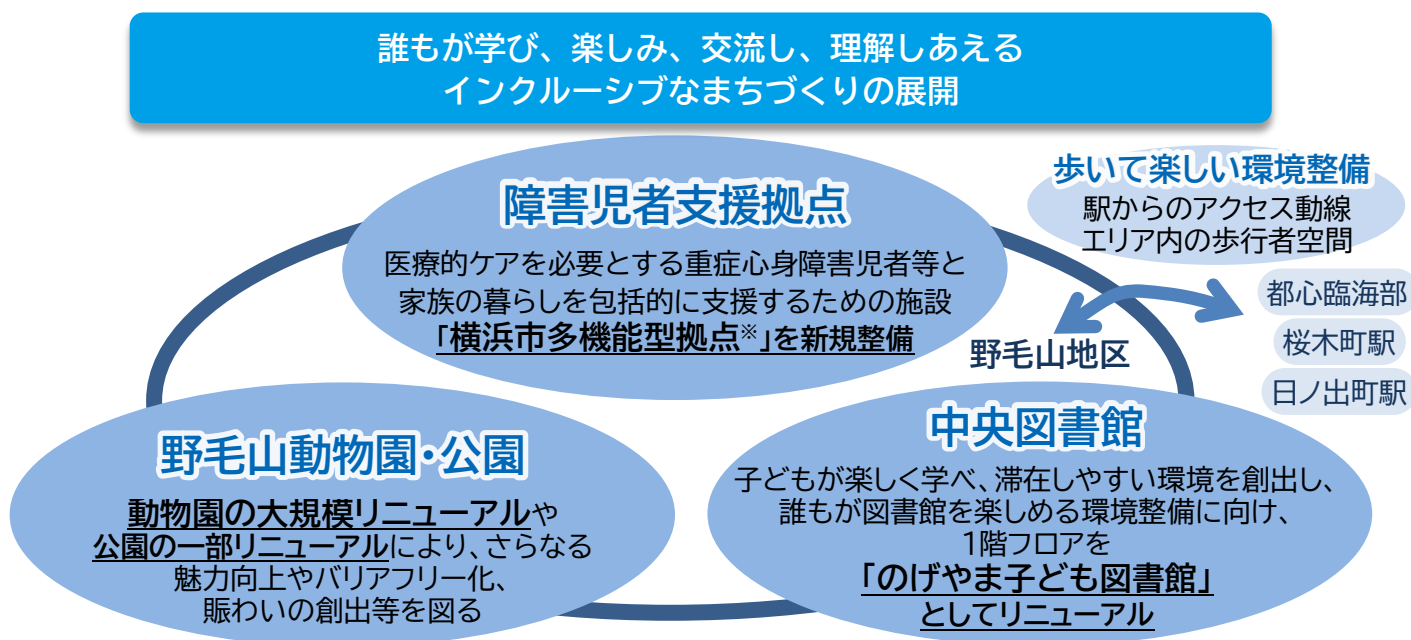
野毛山地区のポテンシャルを生かし、これまで以上に誰もが分け隔てなく、学び、楽しみ、やすらげるインクルーシブなエリアとなるよう、各施設が連携しながらエリア全体でまちづくりを進めます。



〈野毛山地区 案内図〉

1 エリアコンセプト

「誰もが学び、楽しみ、交流し、理解しあえるインクルーシブなまちづくりの展開」をエリアコンセプトとして掲げ、コンセプトに沿ってエリア内各施設が連携しながら新設・リニューアルを進めます。



※横浜市独自の先進事業として市内方面別に6か所整備予定（現在3館運営、1館整備中）

2 取組内容

(1) 障害児者支援拠点【新規整備】

旧青少年交流センター跡地(西区老松町 25-3)を活用し医療的ケアを必要とする重症心身障害児者等を対象に生活介護、短期入所、相談支援、診療所等のサービスを一体的に提供する支援拠点『横浜市多機能型拠点』を新たに整備します。(市内5か所目・令和10年度開所目標)

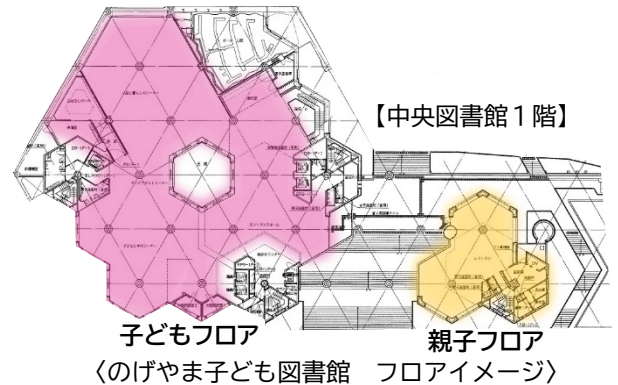


〈横浜市多機能型拠点「こまち」(瀬谷区)の様子〉

(2) 中央図書館「のげやま子ども図書館」

【1階フロアリニューアル】

1階レストランフロアを改修し「親子フロア」を整備(令和6年度先行整備)、その後1階メインフロアも「子どもフロア」として全面的にリニューアルします。子どもたちが楽しく学べ、居心地が良い子ども図書館としてフロアリニューアルを進めます。併せてバリアフリー動線の整備等、誰もが使いやすい環境づくりを進めます。



【中央図書館1階】
子どもフロア 親子フロア
〈のげやま子ども図書館 フロアイメージ〉

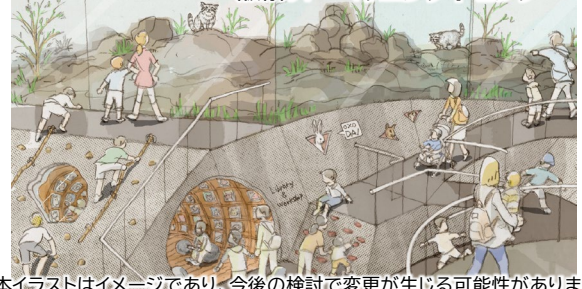
施設名称	中央図書館
所在地	西区老松町1
構造等	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階・地上5階
開館年月	平成6年4月(全面開館)
入館者数(R4年度)	830,402人

(3) 野毛山動物園・公園【リニューアル】

ふれあいコーナー・休憩棟などの充実(令和6年度先行整備)や、動物の観察・遊び・休息が一体となった中心施設「(仮称)ZOOPERIENTA! CENTER(ズーペリエンタ! センター)」の整備(令和10年度完成目標)等により、さらなる魅力向上やバリアフリー化を進めます。



(仮称)ズーペリエンタ!センター



※本イラストはイメージであり、今後の検討で変更が生じる可能性があります。

〈野毛山動物園 リニューアルイメージ〉

施設名称	野毛山動物園・野毛山公園
所在地	西区老松町 63-10
面積	動物園:約 3.3ha 公園:約 5.8ha
開園年月	動物園:昭和26年4月 公園:大正15年9月
入園者数(R4年度)	517,802人(動物園)

3 施設間連携

エリア内の施設リニューアル等を進めたいうで、重症心身障害児者等が動物園・公園や図書館を身近に利用できるよう、動物園や図書館による障害児者支援拠点への出張体験イベントの実施や、重症心身障害児者が動物園・公園、図書館で外出余暇活動ができるよう環境整備(福祉車両の施設乗り入れ等)を進める等、施設間で連携した取組を展開します。

4 目標スケジュール

- 令和6年度
 - ・野毛山動物園 先行整備完了(ふれあいコーナー屋根、屋内型休憩棟)
 - ・中央図書館内「のげやま子ども図書館(親子フロア)」先行整備完了
- 令和10年度
 - ・野毛山動物園リニューアル 中心施設等の整備完了
 - ・多機能型拠点(障害児者支援拠点)の開所

また、中央図書館内「のげやま子ども図書館(子どもフロア)」改修、野毛山公園の活用、アクセス環境向上などについても順次取組を進めていきます。

お問合せ先

取組全体について 都市整備局企画課長 森 隆行 Tel 045-671-2007
 横浜市多機能型拠点 健康福祉局障害施設サービス課長 大津 豪 Tel 045-671-2377
 中央図書館 教育委員会事務局中央図書館企画運営課長 小田川 紀可 Tel 045-262-7342
 野毛山動物園・野毛山公園 環境創造局動物園課長 白井 智廣 Tel 045-671-2607